

北海道支部

2023年

☆6月3日(土)第200回研究談話会(札幌市立大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:「ケージとサークル——Chopin, Welty, そしてリージョナル文学」

発表:本村浩二(駒澤大学)

司会:松井美穂(札幌市立大学)

*終了後、総会

☆6月24日(土)第201回研究談話会(札幌市立大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:「ニューヨーク文学思想史の試み」

発表:巽孝之(慶應義塾大学名誉教授)

司会:本城誠二(北海学園大学名誉教授)

☆9月2日(土)第33回日本アメリカ文学会北海道支部大会(札幌市立大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催)

シンポジウム

タイトル:「公民権運動物語を拡大する——長い公民権運動とアメリカ文学」

司会:岡本晃幸(藤女子大学)

講師:呉憂(北海道大学・院)“Faulkner and Other Famous Black Characters”

本村浩二(駒澤大学)「MeredithのアクティヴィズムとWelty——“A Worn Path”を公民権運動の文脈で読む」

岡本晃幸「“Talk to me, Cal. For God's sake talk to me right.”——*To Kill a Mockingbird*と*Go Set a Watchman*における和解の(不)可能性」

藤井光(東京大学)「Colson Whiteheadにおける、語る声と語られる声」

☆12月9日(土)第202回研究談話会(北海学園大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:“*Light in August*: A Secular American Scripture Haunted by “Passing” Imagery”

発表:Yin Bing(駒澤大学・院)

司会:松井美穂(札幌市立大学)

2024年

☆3月9日(土)第203回研究談話会(藤女子大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:「ジョン・アップダイクと改訂の技法」

発表:竹部春樹(北星学園大学)

司会:本城誠二(北海学園大学名誉教授)

☆3月31日『北海道アメリカ文学』第40号発行

片山厚先生追悼

「片山厚先生の遺徳を偲ぶ」伊藤章

「片山厚先生を偲んで」松井美穂

【特集】「公民権運動物語を拡大する——長い公民権運動とアメリカ文学」

はしがき 岡本晃幸

「*To Kill a Mockingbird*と*Go Set a Watchman*における和解の(不)可能性」岡本晃幸

「Colson Whitehead, ふたつの“King”演説のあいだで」藤井光

「“Walk Against Fear”——Weltyの“A Worn Path”と公民権運動」本村浩二

“Beyond Boundaries: William Faulkner, Lucas Beauchamp, and *Intruder in the Dust*” 呉憂

【新刊書紹介】

研究書

日本ヘミングウェイ協会編『ヘミングウェイ批評——三〇年の航跡』所収

○塚田幸光著

「ナルシスティック/シネマティック・ゲルニカ——ヘミングウェイ, イヴェンス, 『スペインの大地』」

○新関芳生著

「偽装された主人公——話法から読み直す *For Whom the Bell Tolls*」

○高野泰志著

「ジェイムズ, ヘミングウェイ, 覗きの欲望」

○本荘忠大著

「人種的視点から見た20年代パリとヘミングウェイ——『日はまた昇る』に見るヘミングウェイの人種意識」

岡本晃幸

日本ヘミングウェイ協会編『ヘミングウェイ批評——新世紀の羅針盤』所収

○高野泰志著

「ジェイク・バーンズの欲望の視線——不倫小説として読む『日はまた昇る』」

○本荘忠大著

「『誰がために鐘は鳴る』とスペイン・「ジプシー」の神秘主義」

加藤隆治

中村嘉雄, 小笠原亜衣, 塚田幸光編著『モダンの身体——マシン・アート・メディア』所収

○塚田幸光著

「国家と裸身:プレコード, スペクタクル, 『類猿人ターザン』」

○本荘忠大著

「ヒトラーとヘミングウェイが追求した理想の身体——『日はまた昇る』とナチス・反ユダヤ主義映画を架橋する優生思想」

○本村浩二著

「ハーレム・ルネサンスの芸術家たちとサザン・ルネサンスの小説家たち——黒人男性の身体表象をめぐって」

山下興作

○巽孝之著『慶應義塾とアメリカ——巽孝之最終講義』

○巽孝之監修 大串尚代, 佐藤光重, 常山菜穂子編著『アメリカ文学と大統領——文学史と文化史』

本城誠二

東北支部

2023年

☆4月22日(土) 2023年度総会・講演会 (TKP 仙台西口ビジネスセンター)

講演

白川恵子 (同志社大学)

「アーナ・ボンタンが描く奴隷叛乱——『黒き雷霆』とその周辺」

司会 伊達雅彦 (尚美学園大学)

☆6月17日(土) 第1回役員会・6月例会 (TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口)

研究発表1

宮澤文雄 (島根大学)

「3.11後のラフカディオ・ハーン」

研究発表2

堀 智弘 (弘前大学)

「情報カスケード理論から読み直す『トム・ソーヤーの冒険』と『ハックルベリー・フィンの冒険』」

研究発表3

徳永慎也 (群馬パース大学)

「*Breakfast at Tiffany's* に描かれるアメリカの自由——貧困の記憶とアメリカ消費社会への夢」

☆12月9日(土) 第2回役員会・12月例会 (オンライン/Zoom 開催)

研究発表1

林俊一郎 (仙台高等専門学校)

「F・スコット・フィッツジェラルドの作品における人違い——『グレート・ギャツビー』と「乗り継ぎのための3時間」の連続性」

研究発表2

島山 研 (秋田大学)

「“Weep No More, My Lady” ——反戦文学としてのサローヤン『ヒューマン・コメディ』」

2024年

☆3月16日(土) 第3回役員会・3月例会 (TKP 仙台西口ビジネスセンター)

研究発表1

宮津多美子 (跡見学園女子大学)

「覚醒する異邦人——ベラミーとギルマンの社会主義ユートピアにみる社会思想」

研究発表2

藤倉ひとみ (創価大学)

「「普通」への抵抗の末に——Richard Meeker

の *Better Angel* における主題としての「クイ
ア」]

☆3月31日(日) 機関誌発行『東北アメリカ文学研究』
第47号

(研究論文1, 講演1, 書評/映画評3)

☆4月20日(土) 2024年度総会・講演会 (TKP 仙台西
口ビジネスセンター)

講演

小笠原亜衣 (関西学院大学)

「ヘミングウェイの散文実験と近代——スタイ
ン, ピカソ, セザンヌ絵画」

司会 大森昭生 (共愛学園前橋国際大学)

東京支部

東京支部では、支部ホームページ (<http://www.tokyo-als.org/>) において月例会での講演や研究発表、分科会発表等の詳しい情報を提供しています。

☆4月例会 2023年4月15日(土) 午後2時より

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎527教
室

特別講演: 「慣習への反逆と死者の救済——パートル
ルビー, ウェイクフィールド, ハイタワー」

講師: 田中久男 (広島大学名誉教授)

司会: 平石貴樹 (東京大学名誉教授)

★特別講演終了後、支部総会を開催

☆5月例会 2023年5月6日(土) 午後1時30分より

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎445教室

研究発表: 「散文の限界を突破する——ヘミングウ
エイの前衛と近代的世界観」

講師: 小笠原亜衣 (関西学院大学)

司会: 舌津智之 (立教大学)

分科会:

近代散文: 「*McTeague* における金銭と所有」

岩見貴之 (東京大学・院)

現代散文: 「オブライエンの戦場とホーム——
『恋するトムキャット』における愛の
修辞学」

渡邊真理子 (専修大学)

詩: 「ジョージ・オッペン」の「建築」

鷲尾 郁 (明治大学・非)

演劇・表象: 「現代アメリカ文学における遊園地の
表象——George Saunders を中心に」

坪野圭介 (和洋女子大学)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆6月例会 2023年6月24日(土) 午後1時30分より

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎445教
室

シンポジウム: 「男性性研究への応答——フォーク
ナー, 間主観性, ハラスメント, ス
パイ小説」

司会・講師: 山根亮一 (東京工業大
学)

講師: 新納卓也 (武蔵大学)

講師: 河野真太郎 (専修大学)

講師: 平塚博子 (日本大学)

分科会:

近代散文: 「ヘンリー・ソローとコンパニオンズ

ランツ——ピューリタニズムの農耕史」

山口敬雄（東京福祉大学）

現代散文：シンポジウムの継続

詩：「ウィリアム・カーロス・ウィリアムズの声をきく——“The Red Wheelbarrow”」

山本毅雄（国立情報学研究所名誉教授）

演劇・表象：「葬儀屋から見るコミュニティ——August Wilson の *Two Trains Running* における West の役割」

中山大輝（茨城大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2023年9月16日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎435教室

研究発表：「シルヴィア・プラスは誰のものか？——シルヴィア・プラス・エステート vs. 「ファン」」

講師：渡部桃子（東京都立大学名誉教授）

司会：朝比奈緑（慶應義塾大学名誉教授）

分科会：

近代散文：「屋根裏で語ること——*Incidents in the Life of a Slave Girl* 再読」

加藤恵梨香（シンシナティ大学・院）

現代散文：「パラノイアと修復——トマス・ピンチョン『フリーディング・エッジ』における21世紀の陰謀論」

榎本悠希（明治大学・非）

詩：「人間と動物の接点としての身体——『ブルーロックとその他の観察』について」

坂元美樹也（ヨーク大学・院／英国）

演劇・表象：「*Taking Turns* (2017) ——非言語コミュニケーションとケアをめぐるグラフィック・メディスンの方法論」

中垣恒太郎（専修大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2023年11月18日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎445教室

研究発表：「*West Side Story* (2021) はなぜオスカーを一つしか獲れなかったか——フィクション論からのアプローチ」

講師：日比野啓（成蹊大学）

司会：桐山大介（学習院大学）

分科会：

近代散文：「エマソンとボルヘスにおける「書物」

について」

一瀬厚一（日本工業大学）

現代散文：「硝子瓶の脳——カレン・テイ・ヤマシタ *Letters to Memory* における蒐集と記憶」

松村美里（慶應義塾大学・院）

詩：「山火事と生態学的規範——*Turtle Island* にみる環境的想像力」

戸張雅登（モンタナ大学・非）

演劇・表象：「劇の主体の変容——Tony Kushner の *Angels in America* と *Homebody/Kabul*」

外岡尚美（青山学院大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2023年12月9日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

シンポジウム：「場所のリアリティ——アメリカ社会とソーシャル・デザイン」

司会・講師：杉本裕代（東京都市大学）

講師：遠藤朋之（和光大学）

講師：川端康雄（日本女子大学名誉教授）

講師：権田建二（成蹊大学）

☆1月例会 2024年1月20日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎445教室

研究発表：「トマス・ピンチョンと戦争にまつわる想像力」

講師：永野良博（上智大学短期大学部）

司会：波戸岡景太（明治大学）

分科会：

近代散文：「セクシュアル・スケッチ——テネシー・ウィリアムズからハーマン・メルヴィルへ」

小南 悠（立教大学）

現代散文：「「境界線」をこえる主体としての可能性——John Okada 作品にみるトランスボーダー性」

三牧史奈（杏林大学）

詩：「預言者としての自己——Jones Very の詩作品と回心体験」

皆川祐太（日本大学）

演劇・表象：「現代アメリカ演劇の「移動」と翻訳——*J Guards at the Taj, Angels in America, Carousel* を例に」

小田島創志（武蔵大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2024年3月23日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎445教室

研究発表：「Hannah Webster Foster の *The Coquette* における視点の問題」

講師：野口啓子（津田塾大学）

司会：生駒久美（東京都立大学）

分科会：

近代散文：「『ロマンス』の崩壊——『ブライズデイル・ロマンス』における共感」

田島優子（上智大学）

現代散文：「寓話としての都市——フラナリー・オコナー *Wise Blood* にみる模倣と形骸化」

佐藤優果（慶應義塾大学・院）

詩：「神話を生きる——Diane di Prima の *Loba* という神話の諸相」

小川聡子（共立女子短期大学・非）

演劇・表象：「ポール・ストランドとタオスの〈アメリカン・ルネサンス〉」

貞廣真紀（明治学院大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2023年

☆6月例会

6月17日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 青木耕平（愛知県立大学）／司会：杉山和孝（山梨学院大学）

「1990年代のトニ・モリスン：「ビラヴド三部作」シノプシスを読む」

2. 森有礼（中京大学）／司会：梅垣昌子（名古屋外国語大学）

「報復から法へ——William Faulkner, “Barn Burning”における南部のブア・ホワイト表象の政治学」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆9月例会

9月16日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 土屋陽子（弘前大学）／司会：千葉洋平（中京大学）

「*Lucy Gayheart* におけるノスタルジア——「田舎に戻る」Lucy が示す否定される「変化」」

2. 山辺省太（同志社大学）／司会：小原文衛（公立小松大学）

「所有と表象——Cormac McCarthy の *The Road*」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月18日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 藤井爽（近畿大学）／司会：村山瑞穂（愛知県立大学）

「愛を買う女——イーユン・リーの「市場の約束」について」

2. 田村恵理（石川大学）／司会：菅井大地（愛知学院大学）

「Hemingway の扱う恥辱の言葉——“The Short Happy Life of Francis Macomber”の coward について」

★例会後、運営委員会を開催

☆12月ワークショップ（読書会）

12月9日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を

併用するハイフレックス形式

テキスト：Yaa Gyasi, *Homegoing* (2016)

司会：千葉洋平（中京大学）

講師：平沼公子（愛知教育大学）

講師：朴 珣英（金城学院大学）

講師：長岡亜生（福井県立大学）

講師：川村亜樹（愛知大学）

講師：越智博美（専修大学）

司会：千葉洋平（中京大学）

★研究発表後に総会を開催。

★終了後、運営委員会を開催

2024年

☆2月例会

2月24日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 川口雅也（浜松学院大学）／司会：小原文衛（公立小松大学）
「Star Trek：Picard は原作に基づく作品なのか」
2. 本田安都子（福井大学）／司会：鈴木元子（静岡文化芸術大学名誉教授）
「周縁性と真正性——Adam Mansbach, *The End of the Jews* が描くユダヤ系男性作家の系譜について」

★例会前に役員会を開催。

☆第39回支部大会

4月20日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

1. 岩田和男（愛知学院大学）／司会：三輪恭子（名古屋短期大学）
「Willa Cather, *My Ántonia* を“my”から読む」
2. 赤尾千波（富山大学）／司会：川本徹（名古屋市立大学）
「『カラー・パープル』原作小説、映画化作品（1985）、ミュージカル（2005, 2015）とミュージカルの映画化作品（2023）比較研究」

シンポジウム

「1939 New York World's Fair: Utopian Dreams and Built Realities」

司会・講師：クリストファー・J・アームストロング（中京大学）

講師：千葉洋平（中京大学）

講師：モーリーン・マデライン・ブーランジェ（中京大学 [非会員]）

特別講演

「ニューディールの影——連邦作家プロジェクトと『ミシシッピ』ガイドブック」

関西支部

2023年

☆『関西アメリカ文学』第2回編集委員会

7月15日(土)

会場 関西学院大学

☆7月例会 7月22日(土)

会場 甲南大学

ミニシンポジウム(ホーソーン・アフタヌーン)

「編集をめぐる攻防——検閲・炎上・誤読」

司会・イントロダクション 中西佳世子(京都産業大学)

講師 田島優子(上智大学)

「『編者』としてのソファイア——ホーソーン夫妻の検閲と改竄」

講師 福島祥一郎(同志社女子大学)

「センセーショナルリズムと「真実」の間で——ポア文学後期における「根無し草」的批評戦略」

講師 真田 満(龍谷大学:非)

「判読する洞察力——メルヴィルの著作編集の困難」

★例会前に運営委員会を開催

☆9月例会 9月30日(土)

会場:同志社大学

研究発表

1. “‘Heterotopias’ as a Means of Reclaiming History/Memory in *Beloved* and *China Men*”

発表者 王 玲玲(神戸大学・院)

司 会 Nathaniel Preston(立命館大学)

2. 「跳躍する男——*Henderson the Rain King* におけるグローバル冷戦世界の地勢図」

発表者 土岐光一(京都府立大学・院)

司 会 渡邊克昭(大阪大学)

3. 【講演】

講師 Sarah Wider(コルゲート大学名誉教授)

演題 “The Unpublishable Transcendentalists: Reading their Manuscripts”

司会 小田敦子(三重大学名誉教授)

★例会前に運営委員会を開催

☆11月例会 11月4日(土)

Zoomにてオンライン開催

研究発表

1. 「触る *The Handmaid’s Tale* —— なぜ Offred はテープに語ったのか」

発表者 杉本はなな(立命館大学・院)

司 会 平川 和(神戸大学)

2. 「死の匂い漂う生／性のトポス——*The Catcher in the Rye* における「移動」と宿泊所」

発表者 尾田知子(大阪工業大学)

司 会 三杉圭子(神戸女学院大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆支部大会 12月2日(土)

会場 京都女子大学

フォーラム「AIと小説との出会い——愛, 信仰, アート, そして新たなる物語の誕生」

司会 木原善彦(大阪大学)

講師 大内真一郎(舞鶴工業高専)

「*Galatea 2.2*——機械の中の人間」

講師 莊中孝之(京都女子大学)

「*Klara and the Sun*——無慈悲な世界における狂信者のテロリズムとロボットの未来」

講師 渡邊克昭(大阪大学)

「ウィンストンは^{エトラン・ヴィタル}「生の跳躍」の夢を見るか? ——『オリジン』におけるアクターネットワークの生成」

講師 大曾根宏幸(東京工業大学博士後期課程, AI BunCho 開発者)

「LLMは小説家の夢を見るか?」

2024年

☆1月例会 1月6日(土)

Zoomにてオンライン開催

若手シンポジウム「ジェンダーの視点で読み直す／書き換えるアメリカ文学——「女たち」の語りを中心に」

司会・講師 松本ユキ(近畿大学)

「Lafcadio Hearnを読み直す／書き換える——*The Sweetest Fruits*における女たちの語り」

講師 北口未来(関西学院大学・院)

「腐敗する Addie を見つめる女たちの結末——*As I Lay Dying*における女性たちの語りに着目して」

講師 楠元淳平(京都大学・院)

「Thomas Sutpenの「真実」を語る Rosa Coldfield——*The Sound and the Fury*と *Absalom, Absalom!*の差異」

講師 田所朱莉(大阪大学)

「Suzan-Lori Parksの *Fucking A* におけるドラマツルギー分析——TALKを用いる女性たち」

★例会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』第3回編集委員会

1月21日(日)

Zoomにてオンライン開催

☆運営委員会 4月7日(日)
Zoomにてオンライン開催

☆支部総会 5月11日(土)
会場 龍谷大学
講演

講師 貴志雅之(大阪大学名誉教授)
演題 「アメリカ演劇, 疫病, そして分断」
司会 古木圭子(奈良大学教授)

★総会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』第1回編集委員会
5月18日(土)
Zoomにてオンライン開催

☆6月例会 6月15日(土)
会場 大阪大学箕面船場キャンパス
研究発表

1. 「シェイクスピアへの羨望——ジェイムズ・ボールドウィンの戯曲版 *Giovanni's Room* について」
発表者 柳楽有里(兵庫県立大学)
司会 白川恵子(同志社大学)
2. 「バーバラ・キングソルヴァーが描く気候変動小説——*Flight Behavior* におけるオオカバマダラの飛来と *Dellarobia* の変容」
発表者 浅井千晶(千里金蘭大学)
司会 浜本隆三(甲南大学)

★例会前に運営委員会を開催

中・四国支部

2023年

☆『中・四国アメリカ文学会会報』第62号発行(6月1日)

☆『中・四国アメリカ文学研究』第59号発行(6月30日)

☆中・四国アメリカ文学会評議委員会
開催日: 6月10日
会場: 広島大学 東広島キャンパス 総合科学部
事務棟

☆中・四国アメリカ文学会第51回大会
開催日: 6月10日(土)・11日(日)
会場: 広島大学 東広島キャンパス 総合科学部
事務棟

6月10日(土)
研究発表

1. 「『ジョヴァンニの部屋』における西部劇」
司会 光森幸子(広島修道大学)
発表 森兼寛登(広島大学(院))
2. “The Conservative Left in the Age of Late Capitalism: Rethinking of the Relation between Postmodernism and Capitalism in Donald Barthelme's *Snow White*”
司会 栗原武士(県立広島大学)
発表 Jiro Morishita(森下二郎)(香川高等専門学校)
3. 「忘れられたグレーテル——『ホーム』における隠蔽とトラウマの再構築」
司会 吉岡志津世(神戸女子大学)
発表 西光希翔(広島修道大学)
4. 「John Steinbeck の *The Grapes of Wrath* の初訳者新居格について」
司会 酒井康宏(米子工業高等専門学校(名))
発表 山内 圭(新見公立大学)

特別講演

「オナイダ共同体とポリアモリー——メルヴィルからウォートンへ」
司会 大地真介
講師 舌津智之氏(立教大学)

6月11日(日)
シンポジウム「時間と空間の旅人——Henry James における「家」とモビリティ」
司会 堤千佳子(山陽小野田市立山口東京理科大学)

1. 「ジェイムズ作品における帰属意識とモビリティ」
発題 堤千佳子
 2. 「ジェイムズ作品における仮住まいと仮所有——*The Spoils of Poynton* を中心に」
発題 町田みどり（一橋大学）
 3. 「“The Jolly Corner”における多層的モビリティ——旅行・移民・異界」
発題 中井誠一（関西外国語大学）
 4. 「四次元思想と James の「家」——“The Jolly Corner”を中心に」
発題 中村善雄（京都女子大学）
- 総会（12：30～12：50） 議長 会長 大地 真介

☆ Newsletter 第104号発行（11月1日）

☆支部部運営委員会

開催日：12月2日（土） 場所：比治山大学7号館

☆冬季大会

開催日：12月2日（土） 場所：比治山大学7号館
研究発表

1. 「探偵小説として読む *Breakfast at Tiffany's*」
司会者：的場いづみ（広島大学）
発表者：西光希翔（広島修道大学）
2. 「『大理石の牧神』における絵画と身体——ナサニエル・ホーソーン終末論的想像力」
司会者：辻 祥子（松山大学）
発表者：川下 剛（京都産業大学）
3. 「Cormac McCarthy の *The Road* における時間性」
司会者：大地真介
発表者：山辺省太（同志社大学）

2024年

☆支部編集委員会（論文審査、60号編集スケジュールの確認）

開催日：2024年2月9日（金）
Zoomにてオンライン開催

九州支部

2023年

☆ワークショップ（九州アメリカ文学会と江頭理江研究室（福岡教育大学）共催）

7月16日（日）

場所：北九州市立文学館

ワークショップ「アメリカ文学と終末論的想像力」

司会・発表者：鈴木一生（九州工業大学）

「訪れない救いを待つ——メルヴィルによる黙示録の変奏」

発表者：齊藤園子（北九州市立大学）

「個人と社会の相克の彼方——Henry James と Kate Chopin の作品をもとに考える「自由」のゆくえ」

発表者：城戸光世（広島大学）

「終末後の世界におけるサバイバル術——アメリカ版ポストアポカリプス文学を再考する」

発表者：巽 孝之（慶應義塾大学名誉教授・慶應義塾ニューヨーク学院長）

「アメリカ大統領と終末論的想像力」

☆9月例会

9月2日（土）

場所：九州工業大学 戸畑キャンパス

研究発表1

発表者：大野瀬津子（九州工業大学）

「“Oratory Was the One Branch of Literature”——アメリカにおけるスコットランド道徳哲学・修辞学の盛衰」

司会：鈴木一生（九州工業大学）

研究発表2

発表者：竹内勝徳（鹿児島大学）

「終末論としての“Billy Budd”」

科研費申請書作成セミナー

講師：竹内勝徳（鹿児島大学）

☆日本英文学会第76回九州支部大会（アメリカ文学部門）

10月14日（土）—15日（日）

場所：宮崎大学 木花キャンパス

招待発表

発表者：小林正臣（琉球大学）

「人類以前と人類以後——『白鯨』第104章「化石鯨」における隔時性」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

研究発表

発表者：高橋勤（九州大学名誉教授）

「ソローのナチュラルヒストリー——“Natural

History in Massachusetts”を起点として」

司会：齊藤園子（北九州市立大学）

シンポジウム「19世紀アメリカ文学研究からケア倫理に応答する」

司会・講師：生田和也（長崎外国語大学）

講師：江頭理江（福岡教育大学）

講師：内堀奈保子（日本大学）

コメンテーター：小川公代（上智大学）

研究発表

発表者：Liu Hui（福岡大学大学院博士後期課程）

「Varieties of Strong Women in *The Birchbark House Series*」

司会：長岡真吾（福岡女子大学）

特別講演

沼田真祐（作家）

「孤立と連帯」

司会・聞き手：藤野功一（西南学院大学）

聞き手：ユスチナ・W・カシャ（西南学院大学）

クノロジーと政治」

司会：永川とも子（九州大学）

研究発表2

発表者：大島由起子（福岡大学）

「“Norfolk Isle and the Chola Widow”におけるチヨラ性と島の名」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

特別講演

渡邊克昭（大阪大学名誉教授、名古屋外国語大学）

「すべては『関係性』によって繋がっている——後期デリーロにおける量子論的世界観」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

シンポジウム「アメリカとテクノロジー——アメリカ流線型時代の「人間」、「他者」、「テクノロジー」」

司会・講師：中村嘉雄（九州大学）

講師：塚田幸光（関西学院大学）

講師：福田安佐子（国際ファッション専門職大学）

講師：鈴木章能（長崎大学）

☆12月例会

12月16日（土）

場所：九州大学 箱崎サテライト

研究発表1

発表者：矢野清一

「*Jeeper the Fire Engine* と *Gone with the Wind* の比較——登場人物たちに共通する「強（したたかさ）」についての女性性からの考察」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

研究発表2

発表者：川村真央（福岡大学）

「Henry James の描くグロテスクな誓い——*The Other House* における再婚」

司会：齊藤園子（北九州市立大学）

特別講演 牧野理英（日本大学）

「ヤマシタとわたし——アメリカ文学史における日系作家の抵抗の所作」

司会：渡邊真理香（北九州市立大学）

2024年

☆役員会

3月2日（土）オンライン会議

☆九州アメリカ文学会第69回大会

5月18日（土）-19日（日）

映画上映

『グリード』（1924）

研究発表1

発表者：毛利優花（福岡大学）

「Philip K. Dick の短編小説 “Stand-By” に見るテ